

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		2025年 2月 27日	
放課後等デイサービス LEIF仁川					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	バーテンションの利用で区分整理や児童が座る場所などを番号で明確にし視覚での支援を行って活動している	より室内環境を活かせる療育メニューの考案、備品の購入など品質の向上を目指していく
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	適性な人員配置を検討した上で希望休日などを含めて事前に話し合いを行っている	職員の人数を増加したい。良質な指導環境と職場環境を構築する為今後はより採用を強化していく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	施設の広さ、環境は良い。バリアフリーが無い分、視覚での支援情報と施設利用の安全面と快適さを日々精査して施設に反映している	バリアフリーに対しての準備がまだまだ不足している→今後肢体不自由などの利用者様を考慮し活動しやすい環境を考えて整備する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	備品の整理、室内の清掃を行い、室内での運動療育の質を高めるメニュー提案と意見交換を職員で行う事が出来ている	お子様の成長に合わせて細かな調整を意見交換して形にしていく。お子様の成長に合わせて我々も変化に対して柔軟に対応する
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	職員室で休憩や個別の対応を行うことができ、子どもたちも落ち着くことができている	個別対応時に個別専用の部屋や空間が完全に遮断はされていないと感じる。 →カーム空間の改善を行う
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎日のMTGにおいて前日と当日の意見交換と準備を徹底している	研修と勉強会を行う事でより多くの意見交換が出来るように、指導員の知識やスキルを向上していく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	開所後初めての自己評価アンケート実施。今回のアンケートを今後につなげていく	今回の自己評価から改善点を洗い出し、着手して向上させる
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎日のMTGにおいて意見交換を行い、記録を残しアクションプランを決めて活動している	具体的な解決策を考案し、課題解決を引き続き行う
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	他事業所との連携はあるが、外部評価までは行っていない	社内では行えている。完全な第三者機関からの外部評価も踏まえて施設としての運営、支援を強化できるように模索していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	毎月の必須研修を受けることができている	専門的な知識を得られるように、独自の研修だけでなく、こども未来センターや他事業所からの研修が受けられるように調整する
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	HPに記載している	HPに記載。理念を軸にブラッシュアップしていく
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	定期的な面談、日々の療育時での情報共有から児発管を中心に作成を行っている	子ども自身のニーズを聞く機会を作り、本人の意思から成長に繋がる機会を創造していく
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	児発管からの情報を軸としながらサービス担当者会議での支援者からの意見や見解を踏まえて作成を行っている	職員がより知識をつけて、適正な意見が言えるようにしていきたい
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	全職員で共有することができている	より個別、集団支援の中での情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	日々の振り返りから適応行動の状況と行動観察からの情報で支援を話し合う事を行っている	事業所内で統一した基準を作成し、集団行動に特化したアセスメントも検討していきたい
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	各項目の狙いを踏まえて支援を設定している	個に特化した内容になっているので幅広い支援内容を踏まえながらお子様に合った支援計画にブラッシュアップしていく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	指導員で意見を出し合いながら作成することができている	個別、集団支援の中での通所頂くお子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	運動療育の中でのメニュー考案に加えて季節に特化した週間での療育や祝日など屋外へのお出かけイベントを行うことができている	個別、集団支援の中での通所頂くお子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	お子様の情報を日々確認した上で計画を見直し、支援を行っている	個別、集団支援の中での通所頂くお子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	お子様の情報を日々確認した上で計画を確認し、支援を行っている	個別、集団支援の中での通所頂くお子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	終業時に必須事項を共有し対応、その他は翌日午前中に振り返りを行い、課題を抽出して具体的な行動・支援を決めて活動している	個別、集団支援の中での通所頂くお子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	毎日の支援経過の作成。振り返りから支援の検証と改善を行っている	個別、集団支援の中での通所頂くお子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	面談内容を踏まえて児童発達支援管理責任者を中心に活動している	半年での計画がベースにはなるが、日々の療育での成長を踏まえてより良いタイミングで見直しを行い、形にしていくように改善する
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	基本的な活動は行えているが地域交流がイベントなどのみになっている。	地域交流ができていないため、検討していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	その都度個別で対応、集団行動での基準をもとにお子様と対話して自己決定の機会をつくり育成に繋げている	ティーチングだけでなく場面、お子様の成長に応じたコーチングを組み込む事で自己決定の力を促進できるように向上していく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	日々の療育がある中でスケジュール調整を行い積極的に参加する機会を大切にしている	基本的に児童発達支援管理責任者が参加しているため、配置人員に余裕が出てきた際にその他指導員の参加も行っていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	必要事項やある程度の支援の連携は行えているが今後もより一層強化していく必要がある	情報交換が少ないため、まだまだ増やしていく必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	直接学校へ問い合わせたり、保護者様との情報交換を細かく共有している	情報を支援により効果的に活かす方法を模索していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	必要事項やある程度の支援の連携は行えているが今後もより一層強化していく必要がある	4月から新1年生が入所した際に全事業所から情報共有をまず行っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	該当者なし、準備を並行して進めていく	該当者がいないため、今後該当者が出た場合は進学・就労支援を関係各所と連携していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	西宮児童連合会に参画している	各機関での研修情報を把握して、受講できるように調整していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	交流の機会をまだ持っていない	今後交流の機会が持てるように意見交換し、検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	まだ参加出来ていない	今後交流の機会が持てるように意見交換し、検討していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時や電話、LINEにて素早く、かつ状況を具体的に伝えることを大切にしている	送迎時に保護者様と時間があまり取れない場合は各ツールを有効に活用し状況を伝える
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	2025年3月に西宮店で初の保護者会を開催するので仁川店に活かしていく	子どもたちの支援に加えて保護者様とより良質なコミュニケーションがとれる場を増やしていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に伝えている	より安心してお子様をお預かり出来る環境を目指して活動していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	面談内容を踏まえて作成、保護者の方の意見も取り入れることができている	お子様の意向や想い、意思も対話からより取り上げて組み込む事で質を向上していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	契約時・計画時に確認を行い質問等あれば都度対応をおこなっている	細かな部分も漏れなくお伝えできる環境を構築していく

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	日々の療育での情報共有と面談時に特に話すことができる	普段の療育時も含め、保護者様と意見交換出来る時間を大切にしてい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	祝日のイベント療育時に兄弟参加から交流を行えていない。 2025年3月に西宮店で保護者会を開催する2店舗の実施経験を活かして活動する	施設としてお子様の療育だけでなく、ご家族含め幅広い支援が行える環境を検討し、提案、実施に繋げていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	管理者を中心に迅速に対応し、課題解決案を作成、実行を行っている	スピード感を大切に対応しているが、より指導員間の共有のスピードと質をあげて課題の早期解決を行っていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	InstagramなどのSNSで発信している	LEIFでの活動をより安心して楽しんで頂けるように時代に合った発信を工夫していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	会社全体で徹底して取り組んでいる	引き続き個人情報の取扱いについて第三者機関からのチェックと合わせて強化していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	管理者を中心に迅速に対応し、課題解決案を作成、実行を行っている	保護者様への案内が重複する場合があるため工夫を行い明確な案内方法に改善していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	実施出来ていない	今後交流の機会が持てるように意見交換し、検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	避難・防災訓練を年に1回(1週間)行い、より多くの通所者様が安全の理解が深まる様に活動している	マニュアルを保護者の方によりご理解頂けるように周知方法を向上する意見交換を行う
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	避難・防災訓練を年に1回(1週間)行い、より多くの通所者様が安全の理解が深まる様に活動している	業務継続計画を作成するだけでなく、地域への確認をより深めながら質を向上させていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	年に1度再確認を全通所者様に行っている。日々の確認も確実に行い活動している	常にお子様の成長からの健康状態の変化が保護者様と共有出来るように日々の発信で吸い上げて更新していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	年に1度再確認を全通所者様に行っている。日々の確認も確実に行い活動している	常にお子様の成長からの健康状態の変化が保護者様と共有出来るように日々の発信で吸い上げて更新していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	研修、訓練を行うことができる	新規職員を含め、スピード感を向上するようにe-learningを活用して知識と情報の伝達を向上していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	子どもの安全確保に関してのフローを再周知した。指導員の連絡先を全て登録してもらい、事例からの再発を防止している	保護者の方の緊急連絡先に変更など緊急時に過去情報で後手にならない対応と細かい部分までフローを明示して共有していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット事例があった際に報告書を作成し全店舗で事例と課題の共有が出来ている	再発防止策を風化する事無く情報共有出来る仕組みを社内で構築し、課題解決し続けていく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	全社として研修機会を設けている	新規職員を含め、研修のスピード感を向上するようにe-learningを活用して知識と情報の伝達を向上していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	全社として研修機会を設けている	新規職員を含め、研修のスピード感を向上するようにe-learningを活用して知識と情報の伝達を向上していく	